

認知症の方への対応

認知症の症状に最初に気づくのは本人と言われます。物忘れやうまくいかないことが多くなり「なんとなく変だな」と感じ始めます。同時に、どうなっていくのかという不安も感じています。誰よりも心配をしているのも苦しいのも悲しいのも本人です。認知症の方の心を理解することは簡単ではありませんが、本人の気持ちになって対応することが大切です。

基本姿勢

1. 驚かせない
2. 急がせない
3. 自尊心を傷つけない

対応のポイント

1. まずは見守る
2. 余裕をもって対応する
3. 声をかける時は1人で
4. 後ろから声をかけない
5. 相手に目線を合わせて やさしい口調で
6. おだやかに、はっきりした話し方で
7. 相手の言葉に耳を傾けてゆっくり対応する



参考:全国キャラバン・メイト連絡協議会「認知症を学び地域で支えよう」

相談したいときは・・・

認知症や介護についての悩みや不安があるときは、本人や家族だけで抱え込まず、早めに相談しましょう。

◇五霞町地域包括支援センター（福祉センターひばりの里内）

☎ 0280-84-0765

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるように、支援を行う総合相談機関です。ケアマネジャー・保健師・社会福祉士といった専門職が、介護の相談だけでなく虐待防止や権利擁護の支援まで、高齢者とその家族のあらゆる相談にのります。

◇五霞町役場 健康福祉課 高齢者支援係 ☎ 0280-84-0006

介護保険の手続きの窓口になります。

◇小柳病院 認知症疾患医療センター ☎ 0280-23-1042

「もの忘れ外来」のある病院です。認知症に関する相談に対応してくれます。

◇(社)認知症の人と家族の会 茨城支部 ☎ 029-828-8099

認知症の本人と家族による支えあいの組織です。同じ悩みを持つ家族同士の気持ちの共有や情報交換ができます。

認知症初期集中支援チームを設置しました

認知症が疑われる人、認知症の人やその家族を訪問し、認知症についての困りごとや心配ごとに対応するチームです。適切な医療サービスや介護サービスにつなげるために、一定期間（おおむね6か月程度）集中的に支援します。

対応に苦慮しているなどありましたら、五霞町地域包括支援センターまでご連絡ください。

認知症ケアパス

認知症の人とその家族が、住みなれた町で安心した生活が続けられるよう状態に応じて利用できるサービスや受けられる支援をまとめました。

町民の方も、認知症を正しく理解し、認知症の人を支える担い手になりましょう。

認知症に早く気づこう

認知症は早期発見と早期治療が大切です。治すことは難しいのですが、適切な治療をすることで、進行を遅らせ、その人らしい生活続けることができます。認知症かな？と思ったら、チェックしてみましょう。

☐ 直前にしたことや話したことを忘れてしまうことが増えた	☐ おしゃれをしなくなったり、身だしなみに気をつかわなくなった
☐ 同じことを何度も言ったり、聞いたりすることが多くなった	☐ 今まで好きだったことへの興味や関心がなくなってきた
☐ 置き忘れやしまい忘れが増えて、いつも探し物をしている	☐ 外出や人に会うことをおっくうがり、嫌がるようになった
☐ 知っているはずの人やものの名前が出てこなくなった	☐ 今までできていた家事や計算などにミスが多くなった
☐ つじつまの合わない作り話をするようになった	☐ 日にちや時間を間違えたり、慣れた道で迷うようになった
☐ 以前に比べて、ささいなことでおこりっぽくなった	☐ 財布などがないと、盗まれたと言ったり人を疑うようになった



五霞町

認知症の進行段階と支援

認知症予防や認知症の発症、進行段階に合わせて利用できる支援やサービスを記載しました。症状は人によって違い、必要となる支援やサービスも異なります。その人の状態に合わせた対応を整えましょう。



	自立	認知症の疑い	認知症はあるが 日常生活は自立	誰かの見守りがあれば 日常生活は自立	日常生活に 手助け・介護が必要	常に介護が必要
本人の様子	・問題なく日常生活が送れる	・ものの忘れはあるが、金銭管理や買い物、書類作成などを含め、日常生活はほぼ自立している ・今までできていたことに時間がかかるようになる	・買い物や金銭管理にミスが見られるが、日常生活はほぼ自立している ・新しいことがなかなか覚えられない	・服薬管理ができない ・電話や訪問者の対応などが一人では難しい ・買い物など今までできていたことにミスが目立つようになる	・着替えや食事、トイレ等がうまくできない	・ほぼ寝たきりで意思の疎通が困難である ・言葉によるコミュニケーションが難しくなる
具体的な症状の例		・同じことを言う ・計算間違いや漢字のミスが増える	・整理整頓が難しくなる ・身なりを気にしなくなる	・たびたび道に迷う ・入浴を嫌がる	・親しい人がわからなくなる ・時間・場所・季節がわからなくなる	・食事を口からほとんど摂れない ・誤嚥・肺炎
家族の心構え	・認知症や介護について、学ぶ機会を持つ ・今後の人生設計について一緒に考えておこう ・地域の人と交流を持つ	・年齢のせいにはせず、気になり始めたら、早めにかかりつけ医などや地域包括支援センターなどに相談しよう ・同じことを聞かれても、きちんと返答しよう	・認知症を隠さず身近な人には伝えて、協力者をつくりましょう ・今後の生活設計や成年後見人制度を利用した財産管理の方法などを家族で話しておこう	・日常生活の中で積極的に見守ってくれる周囲の人を増やそう ・介護保険サービスを検討しよう ・専門医を紹介されたときは受診してみましょう ・悪徳商法などから守りましょう	・本人の希望や認知症の状態に合わせ、介護サービスを組み合わせ活用しよう ・火の不始末や道に迷うなど事故に備えて安全対策をしましょう ・住まいの環境を整えましょう	・本人が安心できる環境づくりを心がけよう ・言葉以外のコミュニケーションの方法を工夫して、本人を安心させましょう ・人生の最期の迎え方について家族間で確認しておこう
医療	・かかりつけ医を持つ	相談や認知症の診断：かかりつけ医 または 認知症疾患医療センター（ 小柳病院 ） その他 認知症を診療している医療機関				
		・訪問診療 ・訪問看護				
悪化を予防する 介護をうける	・シニアクラブ活動 ・生涯学習		在宅サービス ・通所介護 ・通所リハビリテーション ・訪問入浴介護 ・福祉用具貸与 ・住宅改修 ・訪問介護 ・訪問リハビリテーション ・短期入所生活介護 ・特定福祉用具購入			
	介護予防・日常生活支援総合事業（訪問型サービス・通所型サービス など） 元気はつらつ倶楽部（シルバーリハビリ体操ほか） 五霞ストレッチ教室 介護予防教室		施設サービス ・特別養護老人ホーム ・介護老人保健施設 ・グループホーム ・介護療養型医療施設			
	・ケアハウス ・サービス付き高齢者向け住宅 ・有料老人ホーム					
生活の支援	在宅福祉サービス（有料・要件あり・要申込み） / あったかサービス事業（有料） / 福祉用具貸与事業（有料） / 寝具類洗濯乾燥消毒サービス事業					
	ひとり暮らし高齢者等配食サービス （要件あり・自己負担あり） ひとり暮らし高齢者緊急通報システム （自己負担あり・要申込み）					
	介護用品支給事業（要件あり・自己負担あり・要申請）					
	訪問福祉美容（年3回・1回 1,500円）					
	お金や財産の管理・契約のこと（日常生活自立支援事業 / 成年後見制度）					
	民生委員訪問活動・認知症サポーターによる見守り					